

ぐるり30

～自治調査会だより～

2018

1

No. 052

[発行日]
2018.1.1



【写真提供】八王子市 【撮影場所】高尾山薬王院浄心門

- ▶平成 28 年度調査研究報告書の紹介…………… 2
「基礎自治体によるオープンデータ化と
利活用の可能性に関する調査研究」
- ▶オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介…… 3
町田市 市民協働による生きもの調査
小金井市 環境配慮住宅型研修施設
大島町 地域に花を咲かせる事業
- ▶武蔵野の森総合スポーツプラザを紹介します…………… 4
- ▶多摩交流センターだより
・第21回 多摩の歴史講座 終了報告…………… 5
・多摩発・遠隔生涯学習講座1・2月開催予定の講座案内…………… 6
・東京雑学大学2月講義案内…………… 6
・TAMA市民塾 日曜講座のお知らせ…………… 7
- ▶編集後記…………… 7
- ▶とっておきフォトスポット～八王子市～…………… 8

Contents

1月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

平成28年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.044)で概要を紹介した平成28年度の調査研究報告書のうち、4件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「基礎自治体によるオープンデータ化と利活用の可能性に関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードできます。

基礎自治体によるオープンデータ化と利活用の可能性に関する調査研究

1. 背景・目的

近年、自治体等の保有する情報を、機械判読が可能で二次利用しやすい形でデータ提供(オープンデータ化と)し、利活用を図ることが、地域課題の解決等につながると期待されています。

しかし、自治体のオープンデータの取組はその負担や労力などから、未だ模索段階にあるためから、本調査研究では、自治体のオープンデータ化とその利活用の取組意義・メリットを検討し、将来的な技術革新も見据えた取組のあり方を提言しました。

2. 国内自治体におけるオープンデータに関する取組の現状

国の自治体向け取組ガイドラインの公表等を受け、オープンデータの取組を行う自治体は増加しているものの、平成28(2016)年3月時点での取組自治体数は、全自治体数の11.5%にとどまっています。

3 多摩・島しょ地域市町村におけるオープンデータに関する取組の現状

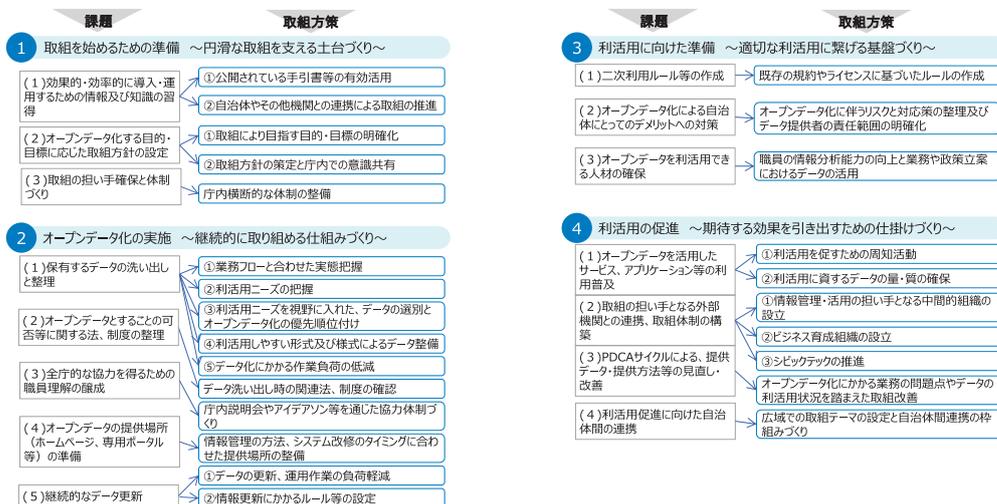
(平成28(2016)年7月時点)

- ① 多摩・島しょ39の自治体のうち、オープンデータの取組を行っているのは5自治体です。検討中の自治体は11自治体で、両者を合わせても全体の約4割程度です。
- ② 自治体がオープンデータの取組を進められない要因
 - ・関心のある自治体では、「必要とされるデータがわからない」、「庁内の認知度が低い、理解が得られない」などが多く挙げられました。
 - ・関心のない自治体では、「自治体が効果・メリットを得られるかわからない」、「業務の負担が増える」「取組にかかる費用の確保」などが多く挙げられました。
- ③ オープンデータの取組実施自治体の多くは、「できれば取組を拡大したい」との意思があり、実施検討中や関心ありの場合も、多くは積極的に推進する意向です。



4. 国内自治体のオープンデータの取組における課題と取組方策

国内自治体のオープンデータの取組における課題と取組方策は、下図のようにまとめることができます。





オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

1 町田市

市民協働による生きもの調査

町田市では、生物多様性保全を目的として、市民に生きものや自然に親しみを持っていただき、また市内の生きもの情報を蓄積するため、市民協働による生きもの調査を行っています。

2014年度から、市内で夏に見られる6種類のセミ(アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、クマゼミ)を対象に、公募した小学生以上の市民に鳴き声を記録していただき、集計結果を出しています。アンケートでは、この調査が家族で話題になり、生きものに興味を持つきっかけになったとの声が寄せられています。

写真は、調査に先立ち行ったセミの抜け殻の見分け方や鳴き声の聞き分けを学ぶ「セミ・セミナー」の様子です。

【問合せ先】町田市 環境・自然共生課 TEL 042-724-4391



2 小金井市

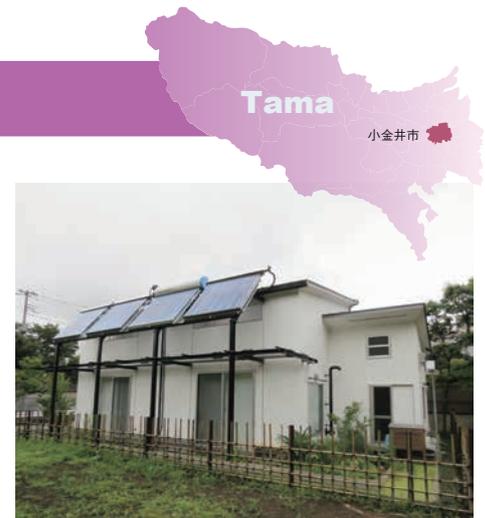
環境配慮住宅型研修施設

小金井市環境配慮住宅型研修施設(愛称・環境楽習館)を紹介します。

環境楽習館は、身近な自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るモデル住宅として、「平成23年度東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助金」を活用して建設されました。市民・事業者・教育機関と協働し、地域をあげて地球温暖化防止に取り組むため、環境に関する情報を発信するとともに環境学習の場を提供し、市民活動の活性化、人材の育成及び環境学習を推進する場となっています。

皆様もぜひ一度ご来館いただき、自然の力を感じてください。

【問合せ先】小金井市 環境政策課 TEL 042-387-9817



3 大島町

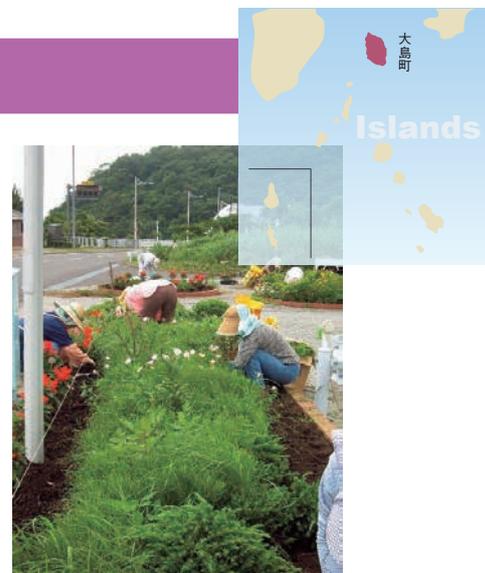
地域に花を咲かせる事業

大島町では、花と緑にあふれたまちづくりをめざし、島内で活動する婦人会及び老人会の協力により、各地域の主要道路沿い花壇等の空きスペースに花を植え育てています。

地域で自分たちの手による活動を行うことで、温暖化防止に寄与するだけでなく、自然を育み愛でる気持ちの醸成や地域コミュニティの活性化にもつながっています。

今後もこれらの目的のため、当事業を継続していきます。

【問合せ先】大島町 政策推進課 TEL 04992-2-1444



武蔵野の森総合スポーツプラザを紹介します



▲メインアリーナ外観

特にサブアリーナは、バドミントンやフットサル、バレーボールなど様々な室内競技に対応しているほか、付属の可動畳により武道場としての利用も可能で、ご予約いただければ一般の方もご利用いただけます。料金表と空き日程はホームページで公開しておりますので、ぜひご確認ください。

サブアリーナ棟の2階にあるプールとトレーニングルームは、予約なしでもご利用可能です。

国内公認の50mプールは、可動壁により25mプールにもなり、様々なニーズにお応えすることが可能です。(水曜日・日曜日は50mプール、それ以外の曜日は25mプール)

トレーニングルームは、ランニングマシン12台、エアロバイク14台、アークトレーナー4台など、初級者から上級者まで利用できる多数のマシンを取り揃えています。

多摩エリアの新たなスポーツの拠点となる「武蔵野の森総合スポーツプラザ」が、平成29年11月25日にオープンしました。

「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は京王線飛田給駅(調布市)から徒歩5分、味の素スタジアムの隣に位置し、最大10,000人以上を収容できる総合スポーツ施設です。

メインアリーナ・サブアリーナでは、国際大会をはじめとする大型スポーツイベントだけでなく、コンサートなどのエンターテインメントイベントも開催できます。

なお、当施設は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、オリンピックではバドミントンと近代五種(フェンシング)、パラリンピックでは車いすバスケットボールの会場になります。



▲サブアリーナ



▲プール



▲トレーニングルーム

プール・トレーニングルームの個人利用について

平日・土曜利用時間	9:00~22:30 (受付終了22:00)	
日曜・祝日利用時間	9:00~21:30 (受付終了21:00)	
休館日	原則毎月第3水曜日	
利用方法	直接来館し、サブアリーナ棟2階の券売機でチケットを購入し、ゲートを通り、プール・トレーニングルームへ	
利用時間と料金	3時間	一般: 500円 (プールとトレーニング併用可) 中学生以下: 250円 (プールのみ) ※中学生以下はトレーニング利用はできません。
持ち物	プール: 水着・スイムキャップ・タオル・ゴーグル トレーニングルーム: 運動しやすい服装・室内用シューズ・タオル	

[問合せ先] 武蔵野の森総合スポーツプラザ
TEL 042-488-8607 FAX 042-488-3633
ホームページ <http://www.musamori-plaza.com/>

[現地案内]

京王線飛田給駅より徒歩5分
西武多摩川線多磨駅より徒歩20分





多摩交流センターだより

第21回 多摩の歴史講座 終了報告

本紙8月号(No.047)で募集した「第21回 多摩の歴史講座」(東京市町村自治調査会・たましん地域文化財団共催)は、200名を超える応募の中から抽選で、50歳代から80歳代の100名を超える受講生の皆様にご参加をいただき、平成29年10月2日から11月20日にかけての月曜日に全5回の講座を開催しました。

この講座は、歴史と文化の宝庫である多摩地域にスポットをあてた連続講座です。

本年度は「武蔵武士団の盛衰」をテーマに、例年行っている見学会は実施せず、第1講から第5講までを講義により多摩信用金庫府中支店会議室で開催しました。

第1講 (10月2日)

「武蔵武士団の誕生」では、首都大学東京教授の鎌倉 佐保氏より、都から移動してくる「武士」について、11世紀半ばに武士団の実質的な祖先が史料に登場してから、12世紀にかけての、白河院や鳥羽院などの院政期に、荘園が再編成される中で、どのようにして土着化していったか、平山などの「名字の地」を持つに至ったかについて講義をいただきました。



▲第1講の様子

第2講 (10月16日)

「考古学研究の立場から武蔵武士団をみる」では、埼玉県立嵐山史跡の博物館学芸員の浅野 晴樹氏から、埼玉県嵐山町や多摩ニュータウンなどの遺跡を例に「武士団の本拠」の典型例の説明と紹介、カワラケや陶磁器などの出土品から見える宴、酒や味噌などの醸造・貯蔵から生活や流通を詳しく解説していただきました。

第3講 (10月30日)

「^{いたび}板碑にみる武蔵武士」では、台東区教育委員会の伊藤 宏之氏より、中世の供養塔である板碑とはどのようなものか、東村山市徳蔵寺や群馬県明王院の源義助の元弘期の板碑を例に、板碑に記された金石文とその背景の考察と解説があり、さらには、板碑に戒名が使われる場合と俗名が使われる場合の違いは、という問題提起もいただきました。



▲板碑(府中市 三千人塚)

第4講 (11月6日)

「南北朝期の武蔵武士団」では、国立歴史民俗博物館准教授の田中 大喜氏により、南北朝の敵対関係を背景に、武蔵武士団の中でも様々な対立や思惑が顕在化した状況や、広域的に結成されてきた武蔵武士団の集合体について詳しく解説していただきました。また第5講につながる白旗一揆の動向についての講義もありました。

第5講 (11月20日)

「室町期の武蔵武士」では、専修大学教授の湯浅 治久氏より、第4講で触れられた白旗一揆をはじめとする武蔵国人一揆の消長から、南北朝期以降の室町期の様々な武蔵武士団の動向や新たな勢力の台頭、荘園や寺社などのあり方で詳しく解説していただきました。



▲第5講の様子

今回の歴史講座でご講義いただきました講師の先生方、参加されました受講生の皆様に厚くお礼申し上げます。次回も皆様の興味・関心を深めることができる講座を企画しますのでご期待ください。

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

1・2月開催予定の講座案内

167回

題名

生涯学習のまちづくり～つなぎあいからにないあいへ

日時 平成30年1月11日(木) 14:30から約1時間

講師 下道 敏行 氏(稲城市教育委員会 生涯学習課(社会教育主事))

内容 生涯学習関係者は、自己実現やより良い街づくりをめざし、様々な活動に取り組まれています。地方自治体への期待や要望も様々ありますが、財政状況などから生涯学習担当の職員数や予算の増などは望めないのが現状です。そこで「にないあい」をキーワードにした「稲城市の生涯学習行政」が文科省に続き、総務省の視点からも評価されましたので、内容を紹介します。



168回

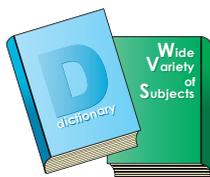
題名 100年前のドレミの歌～音楽と宇宙を貫く調和(ハルモニア)の原理

日時 平成30年2月8日(木) 14:30から約1時間 講師 藤田 浩 氏(宗教音楽研究者)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年2月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は2月8日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1119回	2月1日(木) 14:00から	古川柳から現代川柳への誘い	竹田 光柳 氏 (川柳人協会事務局長、NHK学園川柳講座講師)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1120回 ※	2月8日(木) 14:30から	100年前のドレミの歌～音楽と宇宙を貫く調和(ハルモニア)の原理	藤田 浩 氏 (宗教音楽研究者)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1121回	2月15日(木) 14:00から	最近の世の中を斬る	秋山 紀勝 氏 (元朝日新聞記者)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1122回	2月22日(木) 14:00から	カフェの系譜 ～日本独自の喫茶店文化をたどる	澤野 勉 氏 (新渡戸文化短期大学名誉教授、 NPO法人湘南茶業指導センター理事長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1120回は、第168回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第112回

心を「おだやか」に整えるワザ
～「超カンタン実践心理学」120分集中講座～

【講師】 田中 仁 (zin) 氏

心理カウンセラー。特定非営利活動法人ラフターヨガジャパン理事。茶道講師(表千家)。最新の心理学&脳科学をベースに、笑うエクササイズ、茶道のエッセンスを取り入れた「超カンタン実践心理学」を研修・セミナーで講演。「わかりやすい!」「楽しい!」「これなら続けられる!」と大好評を得ている。

【内容】 日常のストレスに負けずに心を整えて生きていけば、健康寿命が延びることが科学的にも証明されつつあります。さらに、アンチエイジング、人間関係改善など、そのメリットは計り知れません。

心を整えて暮らすことはできます。しかも、それは「技術」です。技術なのでトレーニングすれば、どなたでも身につきます。年齢、経験は不問です!

「最新の心理学&脳科学」をベースに、「笑うエクササイ

ズ」や、誘導瞑想で潜在意識に語りかける「眠りヨガ」なども取り入れた内容。知識ゼロの方でも、その日から実践できる「感情コントロール法」をお伝えします。この機会に心を整える「ワザ」を、ぜひ習得してください!

日時 平成30年1月21日(日) 14:00～16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

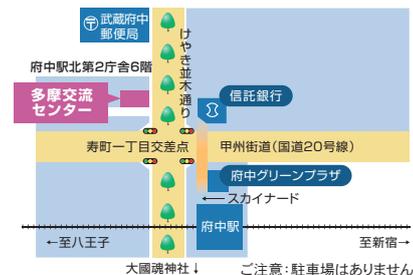
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- あけましておめでとうございます。
新年を迎え、「平成」の世も残すところあと1年4ヶ月となりました。
昭和後期には、明治、大正、昭和とそれぞれ世代間のギャップが感じられる時代がありましたが、将来、新たな元号の年に生まれる世代にも、また同様の意識のギャップが出てくるのでしょうか。
- 昨年は、都議会議員選挙と衆議院解散総選挙があり、なにかと選挙が話題となった年でした。
国政選挙の結果を受けて、今年2月には安倍総理大臣の通算在職日数が吉田茂を抜き、現行憲法下では佐藤栄作に次ぐ歴代2番目の長さとなります。目まぐるしく変化する世界情勢のなかで、国民の信託を受けた政権には、日本の安全と国民経済・福祉の更なる発展、向上を目指してもらいたいと思います。
また、都政においても、会派の構成が一新した都議会には、オリンピック・パラリンピックを目前に控え、山積する課題に的確に対応するために、チェック機能を発揮して、知事とともにしっかりと都政を前進させる両輪となることを期待します。
- 一方、今年は2000年生まれの若者が選挙権を得て、新社会人や大学生(※早生まれ)になります。2000年はインターネットのADSLやカメラ付の携帯電話が世に出た年で、こうした機器やシステムが、生まれた時から当たり前身近にあった新しい感覚の世代です。
- 新世代の登場に加えて、これからの社会でエポックとなるのはIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)などの新技術と言われています。まだまだ未知の部分が多いこれらの技術は、加速しつつ社会を大きく変革してゆくと考えられています。
ディープラーニングという機能を持つAIは、囲碁や将棋の世界では人との対局に勝利し、民間ではこれらの新技術を活用したシステムが、熟練社員以上の速さ・精度で効率的な作業配置の指示を出す成果例などが報告されています。
- さて、ではこれから人は何をするのでしょうか。それは、「新たな価値をつくる存在」となるとも言われています。よく例えに、「コンピュータは『馬車』を連結して効率よく走らせる段取りはできるが、人は馬車に代えて『鉄道』をつくり出す」と言われます。
- ということで、当調査会もささやかながら、今月号から新たな企画『とっておきフォトスポット』を裏面に掲載します。
当調査会は、今年も調査研究や市民活動の支援などを通じて、未来の地域づくりのお役に立てるよう活動を行ってまいります。
本年もどうぞよろしく願いいたします。
(M.N)





とっておきフォトスポット

第1回 八王子市

きれいな景色やおもしろいものをみつけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「高尾梅郷 木下沢梅林」と「夕やけ小やけふれあいの里」を紹介するよ。



高尾梅郷 こげさわ 木下沢梅林

@WATAGE



木下沢梅林は、約1,400本もの紅梅・白梅の木がある梅の里なんだよ。

梅が開花する時期には、一面に咲き誇る紅白の梅を眺めることができるよ。

撮影のPOINT!

- 例年3月ごろ、木下沢梅林の特別開放をされていて、梅を間近で撮影することができるんだ。
- 土日は、とても混み合うので、平日が撮影には最適だよ。



夕やけ小やけふれあいの里

@WATAGE



園内のあちこちで「シモバシラの氷の花」が見られるよ。植物の茎に咲いた白い花のようだけど、本物の花ではないんだ。シソ科の多年草「シモバシラ」の茎にできた氷の膜が、まるで花のように見えるんだよ。

撮影のPOINT!

- 12月から1月までの寒い朝に見られるよ。
- 気温が高くなると氷の花が溶けてしまうから、午前中の早い時間の撮影がおすすめなんだ。温度や天気によっては見られないことがあるよ。
- 12月15日から1月5日までは、8時15分から入園できるよ。(平常時9時開園)



[現地案内]

←高尾梅郷 木下沢梅林
JR高尾駅北口から京王バス(高01)「小仏」行きで、約13分「大下(おおしも)」下車。徒歩7分。

夕やけ小やけふれあいの里→
JR高尾駅北口から西東京バス(霊園32)「陣馬高原下」行きで、約30分「夕焼小焼」下車すぐ。



[情報・写真提供] 八王子市産業振興部観光課 042-626-3111(代表)



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

【発行日】平成30年1月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。